工業簿記

【第10回】原価計算の種類

経済学部　山根陽一

Copyright (C) YAMANE Yoichi All right reserved

- Trick or treat！
- こんにちは。今日はハロウィンですね。

- さて、前回はペーパータワーの作成と損益分岐点分析（CVP分析）について学習しました。

- ところで、唐突にCVP分析を行いましたが、あの分析とこれまでやった原価計算とはどのように繋がっているのでしょうか。
- と、そんなことを今日はお話ししようと思います。

前回の振り返り

Copyright (C) YAMANE Yoichi All right reserved

- 前々回までに学習した仕訳による原価計算は、製品を製造するのに、費用がいくらかかったのかを計算するという純粋な原価計算でした。

- そして、それを仕訳によって集計していくというのが工業簿記です。

- 一応、直接材料費、間接材料費、直接労務費、間接労務費、直接経費、間接経費の分類で原価を勘定連絡の形で集計してくことは理解できたのではないかと思います。

これまでやってきた仕訳の意味

Copyright (C) YAMANE Yoichi All right reserved

- 工業簿記（原価計算）では、形態別分類と製品との関連で6つに区分して、仕掛品に原価を集計していく計算を費目別計算と読んでいます。

- 工業簿記の**簿記（仕訳）**については、ほぼほぼ費目別計算ができるようになれば、OKです。

- ただ、原価を計算する方法は、製品の性質によって異なることになります。

費目別計算

Copyright (C) YAMANE Yoichi All right reserved

- 製品には、建物や船など、顧客から注文された製品を個別に製造し、引渡すという、いわゆる受注生産（オーダーメイド）によるものと、
- 皆さんに手許にある電卓やペットボトルの飲料など、注文がある度に製造するのではなくて、同じものを大量生産して販売するものがあります。
- さて、この受注生産と大量生産で原価計算は、どのように異なることになるでしょうか？

受注生産と大量生産

Copyright (C) YAMANE Yoichi All right reserved

- まず、受注生産(オーダーメイド)について考えてみましょう。

- 受注生産の場合、顧客からの注文がなければ、もちろん製品は製造しません。
- また、受注生産の場合、製造する製品は、顧客から要件が伝えられ、その内容に従って製造するため、注文ごとに製品は異なるとことになります。

- つまり、基本的に売価も原価も同じものはないということになります。

個別原価計算

Copyright (C) YAMANE Yoichi All right reserved

- この場合、工場では、まず製造指図書という製品をどのように製造するのか(仕様)をまとめた書類を作成します。

- そして、製造部門では、製造指図書に従って、製品の製造を行い、原価計算部門でその原価を集計します。

- 皆さんは、原価計算部門のメンバーということです。

個別原価計算

Copyright (C) YAMANE Yoichi All right reserved

- 原価計算部門では、前々回までに行ったような計算や仕訳を行って、製品の原価を集計し、原価計算表という書類を作成します。
- 原価計算表は、注文ごと(製造指図書ごと)に作成し、注文ごとに原価を計算します。
- では、実際に作成してみましょう。※配布資料P1

個別原価計算

Copyright (C) YAMANE Yoichi All right reserved

- 次に大量生産について、考えてみましょう。
- 電卓やペットボトル飲料、自動車などは、注文の度に生産するのは非現実的ですよね。こういった大量生産する製品の製造は、一定期間ごと（1ヶ月）の原価を集計して、その期間中に生産した製品の数で割って1個あたりの製造原価を計算していきます。
- 例えば、配布資料P2は計算できますか？

総合原価計算

Copyright (C) YAMANE Yoichi All right reserved

- ちなみに材料費とは直接材料費のことで、加工費とはそれ以外の費用（間接材料費、直接労務費、間接労務費、直接経費、間接経費）のことです。

- 材料費は、作り始める際にすべて使用する前提で考えてください。
- 加工費は、加工が進むにつれて費用がかかっていくと考えてください。

総合原価計算

Copyright (C) YAMANE Yoichi All right reserved

- 受注生産の個別原価計算と
- 大量生産の総合原価計算、
- 違いはわかりましたか？
- 要は、個別に計算するか、期間でまとめて計算するかです。
- テキストでは個別原価計算がテーマ8,9で、総合減か計算がテーマ12〜16になっています。

個別原価計算と総合原価計算

Copyright (C) YAMANE Yoichi All right reserved

- さて、受注生産と大量生産については、ご理解頂いたとして、原価計算の役割は、ただ原価を計算することだけにあるのでしょうか？

- 前回学習したCVP分析は、原価を計算していますか？
- していませんよね。

- 原価計算には、原価を管理する、要はコスト削減や効率の善し悪し、適正な販売数量（予算）の計画など、単純に原価を計算するだけではなく、他の利用もあるのです。

原価計算の役割

Copyright (C) YAMANE Yoichi All right reserved

- これまで説明してきた個別原価計算や総合原価計算は、実際に何をどれだけ使ったのかを計算する、純粋な原価計算でした。

- これを実際原価計算と呼びます。

- 実際に何をどれだけ使ったのかを単純に計算するだけではなく、製品を製造する前に、製品の原価を決めてしまう原価計算もあります。

実際原価計算

Copyright (C) YAMANE Yoichi All right reserved

- 先に原価を決めてしまうというのは変な話かもしれませんが、例えば、大量生産において一定の原価の目標値は必ず必要になります。

- この製品の材料は1個あたり〇〇円、作業時間は1個あたり〇〇時間というように、予め決めておくと、その目標値と実際にかかった原価の差額を分析することで、何が良くて（低コスト）、何が悪かったのか（高コスト）が判明し、原価の改善を図れることになります。

- この目標値を標準原価と呼びます。

標準原価計算

Copyright (C) YAMANE Yoichi All right reserved

- ちなみに、実際原価計算をする際に、予定価格や予定賃率を使用することがありますが、これは原価を計算する上での便宜上の措置であり、消費量や作業時間は実際の数値を使用するので、実際原価計算の範疇に入ります。

- 標準原価計算では、原価は設定した標準原価（原価標準）×数量で計算します。

標準原価計算

Copyright (C) YAMANE Yoichi All right reserved

- 標準原価計算では、原価の計算は実際原価ではなく、標準原価をしようするので、予め設定されている標準原価（原価標準）に数量をかけるだけなので簡単です。

- メインは差異分析です。
- 何が良くて、何が悪かったのか、どこを改善するべきかを見つけ出す分析を学習します。

- テキストでは、テーマ18,19になります。

標準原価計算

Copyright (C) YAMANE Yoichi All right reserved

- さて、前回に原価を変動費と固定費にわけて考えましたが、今のところ、変動費や固定費については触れていません。
- 最後に、原価を変動費と固定費にわけて計算する原価計算について、お話していきたいと思います。
- 前々回までに学習した変動費と固定費にわけずに、原価を計算していく原価計算を全部原価計算と呼びます。

変動費と固定費

Copyright (C) YAMANE Yoichi All right reserved

- そして、変動費と固定費をわけて原価を計算する原価計算を直接原価計算と呼びます。

- なぜ、変動費と固定費にわけるかというと、固定費は生産・販売数量に関係なく発生する原価であるため、基本的に増減をコントロールできません。

- 一方、変動費は生産・販売数量に比例して発生し、前回のCVP分析のように、販売計画や利益計画に役立てることができるのです。

直接原価計算

Copyright (C) YAMANE Yoichi All right reserved

- 一言でいうと、直接原価計算では変動費のみで原価計算を行います。
- 管理可能な変動費に焦点を絞って、原価計算することによって、効率や原価の設定に役立てるのです。
- テキストでは、テーマ20,21で取り上げられています。

直接原価計算

Copyright (C) YAMANE Yoichi All right reserved

- 簡単に原価計算の種類について説明してきました。
- まとめると以下の通りです。

- 受注生産 VS 大量生産
  - 個別原価計算　　　総合原価計算
- 実際発生額 VS 標準原価
  - 実際原価計算　　　標準原価計算
- 変動費＆固定費 VS 変動費
  - 全部原価計算　　　直接原価計算

原価計算の種類

Copyright (C) YAMANE Yoichi All right reserved